

各 位

「とがち・イノベーション・プログラム 2018」（第 4 期）の開始！

— 地域の「稼ぐ」を創り出す、混血型事業創発 —

（革新者プロジェクト × フードバレーとがち）

2018 年 6 月 11 日

帯広信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、北海道二十一世紀総合研究所、道銀地域総合研究所、野村総合研究所、とがち財団、十勝 19 市町村は共同で、新たな事業創造を目指す「とがち・イノベーション・プログラム 2018」（第 4 期）を 2018 年 7 月から開始します。

この事業は、創造的なビジネスモデルを実践して今注目されている全国の革新的経営者と、十勝の事業者や起業予定者との知的混血・コラボレーションによる化学反応で、地域の稼ぐ力を呼び起こそうとするものです。

本プログラムは 2015 年から開始しており、2017 年の第 3 期まで、合わせて 28 件に上る事業構想を打ち出しました。これらの事業は現在も事業化に向けて挑戦中であり、現在、7 つの事業が会社設立に至っています。また、取組みの成果は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の「地域しごと創生会議」で紹介されるなど、多くの関係者から高い評価をいただいています。

第 4 期プログラムは 2018 年 7 月～11 月の 5 ヶ月間を予定しています。

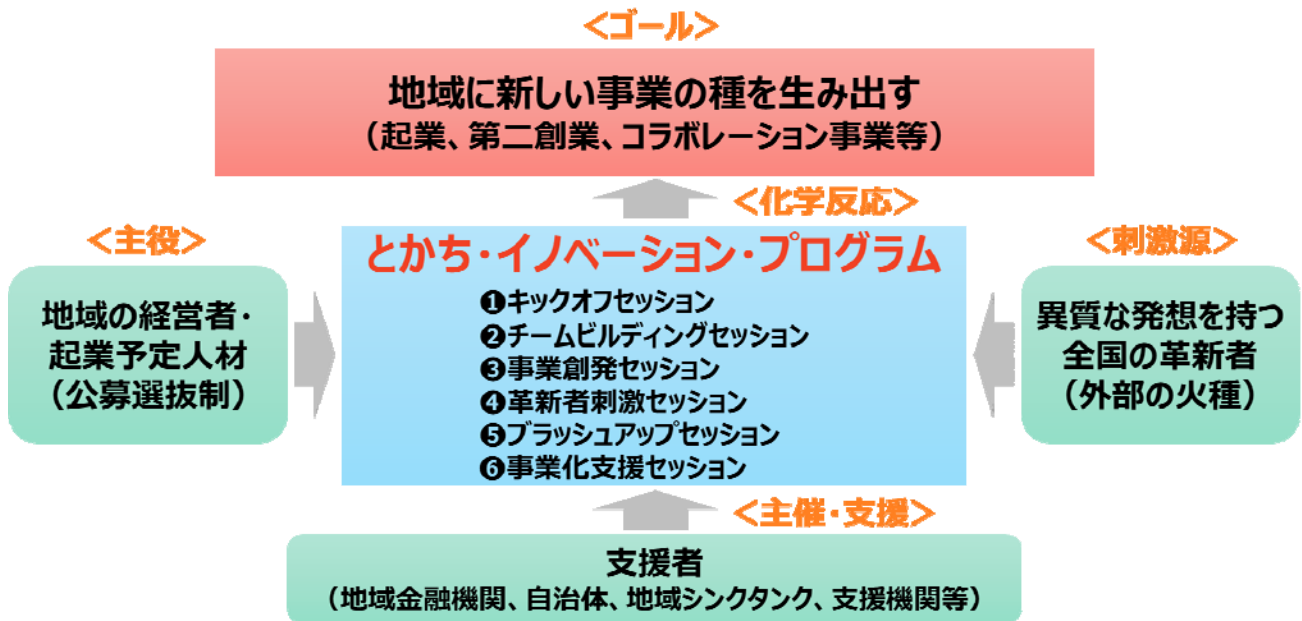
主催 帯広信用金庫

共催 北洋銀行、北海道銀行、北海道二十一世紀総合研究所、道銀地域総合研究所、十勝 19 市町村

協力 野村総合研究所、とがち財団

本プログラムでは、新事業展開意欲の高い十勝の事業者や起業予定者を募集し、「キックオフセッション」、「チームビルディングセッション」、「事業創発セッション」、「革新者刺激セッション」、「ブラッシュアップセッション」、「事業化支援セッション」の 6 種類のセッションを通じて、チームを作りながら新たな事業創発を目指します。プログラム全体の企画開発は野村総合研究所が担い、参加メンバーの決定とプログラムの管理・推進は、帯広信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、帯広市、とがち財団が連携して進めます。道内 2 つのシンクタンクは専門的な人材の提供などで同プログラムを支援します。また、本プログラムから生まれた将来有望な事業コンセプトに対しては、行政や金融機関などの関係機関が連携して実現化支援策を検討するなど、オール十勝、オール北海道の強力なバックアップ体制の構築を狙います。

本プログラムは、革新者を含む異質な人材の組み合わせによって新しい事業の種を構想するという全く新しいアプローチに特徴があります。ハイレベルの外部の革新者から刺激を受け、あるいは十勝の事業者や起業予定者が業種や世代を超えて深く対話し、連携することによって、今までにないような創造的コラボレーション事業を生み出すことを期待しています。この取組みを通して起業創業を促進し、新たなビジネスモデルをこの北海道・十勝からつくるため、本プログラムをすすめるものです。



【プログラムの概要】

1. 名称：「とちぎ・イノベーション・プログラム 2018」（第4期） ※通称：TIP4
2. 期間：2018年7月～11月
3. 参加メンバー：十勝での新事業創出に対して意欲的な人材、事業者など。公募により限定100名程度
4. プログラム概要：
 - (1) キックオフセッション（1回、7月18日[Ⓢ]開催）
 - プログラムの目的、ゴール、進め方などに関する意見交換、意識共有、ならびに参加メンバーの相互の理解と良質な関係構築を図る
 - (2) チームビルディングセッション（1回、7月28日[Ⓢ]）
 - 参加メンバーの頭の中、胸の中にある思いやアイデアをアウトプットする
 - チーム作りの基礎となる参加メンバー同士の相互理解を深める
 - チーム作りのアドバイザーとして楽天大学 仲山進也学長を招聘する予定
 - セッション終了後は一層の相互理解を進めるため、希望者のみ宿泊にも対応
 - (3) 事業創発セッション（2回、8月10日[Ⓢ]、8月24日[Ⓢ]）
 - 参加メンバーで形成したチーム毎に新事業のアイデア（種）を構想していく
 - 事務局のほか、アドバイザーも参加してチームによる事業アイデア創出をサポートする
 - (4) 革新者刺激セッション（2回、9月7日[Ⓢ]、9月28日[Ⓢ]）
 - 日本各地で革新的な事業モデルを展開している「革新者」の話を聞き、交流することでチームの事業アイデアについてスケールアップやインパクトの強化を狙う
 - 予定している革新者 ※革新者は都合により変更されることがあります。
（株）ジーンクエスト 高橋祥子 氏
重富酒店（ビールスタンド重富） 重富 寛 氏 など
 - (5) ブラッシュアップセッション（2回、10月12日[Ⓢ]、10月26日[Ⓢ]）
 - 構想した事業アイデアのプレゼンテーションを行い、それに対してアドバイザーや事務局から質問・意見などを受ける（壁打ち）ことを通じて、事業アイデアのさらなるブラッシュアップとプレゼンテーションの方法について検討する
 - (6) 事業化支援セッション（1回、11月15日[Ⓢ]）
 - 各チームが本プログラムで構想した事業アイデアについてプレゼンテーションを行う
 - 参加者は支援機関や金融機関、投資家など幅広く募り、発表した事業アイデアの実現に向けてサポートしてもらうことを狙う

【参加者募集の概要】

1. 応募要件

企業経営者・後継者、新事業開発担当者、個人事業主、起業希望者等で以下の要件に該当する方

- 十勝での起業または事業の発展的転換・新事業展開を目指す方
- 一連のセッションに継続的に参加できる方

2. 募集人数、募集期間

- 100名程度
- 募集期間は、6月11日㊦～7月5日㊦まで（最終日の受付は15時まで）

3. 応募様式・方法

以下の項目を任意の用紙に記載の上、帯広信用金庫経営コンサルティング室宛にメール又はFAXで送付するか、帯広市が用意する申し込みフォーム（QRコード又はURLから）に入力・送信する

- (1) 住所、氏名、年齢
- (2) 連絡先（電話番号、メールアドレス等）
- (3) 現在の職業または経営している事業所名と事業の内容
- (4) 応募動機
- (5) 現在持っているビジネスアイデア等

<メール・FAX 送付先>
帯広信用金庫経営コンサルティング室
E-mail : consul@obihiro.shinkin.jp
F A X:0155-24-3348



<申し込みフォーム URL>
<https://www.harp.lg.jp/nWJ5r99h>

4. 参加費用

- 無料（ただし、交流会参加費等の実費が別途発生する場合があります）

5. その他

- 参加者は審査により決定しますので、お申込みいただいてもご希望に添えない場合がございます。応募者には、審査後、速やかに選考結果を通知します。
- 本プログラムの様子や内容は、メディアに対して公開することがあります。したがって、知的所有権、肖像権等につきましてはフリーとすることをご了承ください。
- 応募に際していただいた個人情報は、応募審査ならびに本プログラムの運営以外の目的には使用いたしません。

<お問い合わせ先>

帯広信用金庫経営コンサルティング室 担当：三品

TEL 0155-21-5353（受付時間 平日 9時～18時）